

協会名	会長名	事務局	事務局長	設 年 月 日
福島ユネスコ協会	梅宮幸次郎	福島市中央公民館内 福島市松木町1-7	山倉行雄	55. 7.19
会津ユネスコ協会	宮森武子	市教委生涯学習課内 会津若松市栄町5-17	石田和夫	55.11.16
相馬ユネスコ協会	大谷 彰	市教委生涯学習課内 相馬市坪田字八幡前173	櫻岡光子	63. 7.15
いいたてユネスコ協会	佐藤幸夫	村役場内 飯釜村伊丹字伊丹沢580-1	佐藤俊雄	4. 3. 7
郡山青年ユネスコ協会	佐久間泰王	学校法人佐久間学園 法人本部総務局気付 郡山市並木5-6-9	大本研二	8.12. 1
福島県ユネスコ連絡協議会	佐藤 信	福島市森合字北谷地 10-1 松井和夫宅	松井和夫	56.12. 5

2 東北ブロックユネスコ活動研究大会 (福島県ユネスコ活動研究協議会)

- (1) 月 日 平成10年10月17日(土)～18日(日)
(2) 会 場 郡山ビューホテル
(3) 参加者数 ユネスコ活動関係者、社会教育関係者、学校教育関係者、関心のある方 192名

3 国際交流活動研修会

- (1) 期 日 平成10年9月29日(水)
(2) 会 場 下郷ふれあいセンター
(3) 参加者数 国際交流事業関係者、社会教育関係者、学校教育関係者、在日外国人 126名

第8節 家庭教育

概 要

家庭は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う最も重要な場であることから、親自らが積極的に学び、しっかりとした信念と自信をもって子育てに当たる必要がある。

しかし、近年、核家族化、少子化、就労女性の増加、価値観の多様化など、子どもを取り巻く環境は著しく変貌を遂げ、子育てに対する不安や悩みなどは益々深刻なものとなっている。

そこで、当面している家庭教育上の諸問題の解決を援助するために、必要と思われる情報や学習機会を提供するとともに、子育てに関する適切な助言や援助が行える相談体制の整備と、普及・啓発資料の作成などにより、生涯学習の基礎となる家庭教育の充実振興を図った。

1 家庭教育子育て支援推進充実事業

(1) 事業実施主題

「子どもの「生きる力」を育む家庭教育の向上」

(2) 事業内容

① 企画推進委員会の開催

家庭教育上の諸問題の原因等を分析し、家庭教育関係資料の作成や研修会の企画並びに立案を行うほか、課題解決に関する具体的方策の研究に当たった。

〔企画推進委員〕

氏 名	役 職 名	備 考
渡 辺 俊 彦	福島女子短期大学教授	委員長 ○
大 宮 勇 雄	福島大学教育学部助教授	副委員長 ○
松 崎 博 文	福島大学教育学部助教授	
神 戸 信 行	児童養護施設青葉学園長	
糠 澤 修 一	福島テレビ取締役報道制作局長	
新 家 淳 子	県家庭教育電話相談員	
芳 賀 裕	司法書士・前県高等学校PTA連合会副会長	
長 谷 部 琢 磨	県青少年女性課主任主査	
兼 子 芳 久	県児童家庭課児童健全育成担当主任主査	○
長 谷 川 次 男	県教育センター教育相談部長	
佐 藤 和 子	県教育庁義務教育課指導主事	○

(○印 育児資料作成編集委員兼任)

- ② 育児資料「すこやかな成長を願って」の作成・配布
「すくすく2・3歳」を22,000部作成し、各市町村教育委員会・母子保健担当課を通して該当する幼児を持つ家庭と、公民館を始めとする関係機関に配布した。

- ③ 家庭教育電話相談「すくすくダイヤル」のフリーダイヤル化

ア 相 談 日 毎週月曜日から金曜日まで
イ 時 間 午前9時30分から午後2時まで
ウ 電話番号 024-553-8222、0120-81-7867
エ 電話相談員

氏 名	役 職 名	備 考
新 家 淳 子	家庭教育アドバイザー	◎
成 田 由 美 子	心理判定士	
林 千 枝 子	家庭教育アドバイザー	
鳥 貫 ノ ブ	家庭教育ふれあいネットワークカー	
松野内 勢津子	家庭教育ふれあいネットワークカー	○
岡 野 淳 子	臨床心理士	
佐 藤 典 子	保健婦	

(◎印 企画推進委員 ○印 育児資料作成通信編集委員兼任)

オ 相談状況 相談件数 450件

カ 相談内容

- 1位 健康発育
2位 育児・保育
3位 性の問題
4位 性格行動

- ④ テレビ番組「ちいさな世界」の放映

15分間の番組を福島テレビに制作委託し、平成10年10月から翌年3月まで、日曜日の7時15分から7時30分まで26回放映した。

- ⑤ 学習ビデオ教材の作成